

増やす。倉庫の拡張や新設も検討している。

同空港の14年度の国際貨物は前年度比56%増の1万870トと初めて1万ト台を突破。15年4〜6月も前年同期比43%増と好調だ。特に魚介類の

輸出は14年度が79%増の5418ト。香港や台湾へのホタテの輸出が急増し、年末年始や春節(旧正月)は「足の踏み場もないほど荷物でいっぱいになる」(新千歳貨物事業所の菅原幸治所長)。

同社は航空会社に代わって国際貨物を取り扱う会社として1986年に設立。現在は道庁や札幌市、道内民間企業などが出資する。15年3月期の売上高は前の期比41%増の2億6100万円。

地方創生支援で連携

北洋銀と日本公庫 道内で協調融資

北洋銀行と日本政策金融公庫札幌支店は13日、地方創生での連携に向けた覚書を交わした。道内

の強みである食や観光関連、新興企業などに協調して出資・融資したり、販路拡大に向け取引先を

紹介したりする。地方創生に向け、狙みを支援する狙公庫と地方創生書を交わすのは、間金融機関で初という。例えば北洋銀

学生研究組織 道内4ゼミの研究助成

学生の研究成果を政策に。道内の大学で作る北海道学生研究会SCAN(本部・釧路公立大5人学)は釧路市の地域課題

の解決策を探るため、4ゼミ(3大学)の研究を対象に助成をする。各ゼミは12月に政策提言をまとめ、優秀な研究は市の

2016年度の予算化をめざす。学生の研究を市の事業につなげる取り組みは珍しい。助成するのは、北海学

園大学(札幌市)宮島ゼミの「北海道の観光マップ」と、札幌大学(同)武者ゼミの「外国人観光客受け入れに関して広域連携の戦略を考える」。

地元の釧路公立大学(釧路市)では、神野ゼミの「新しいまちづくり観光の実践―釧路街中フットパス導入によるコミュニティの再生―」と、下山ゼミの「地域経済と人口移動の動向分析―釧路地域との愛着度や関係性を考慮した研究」が対象と

で披露する。SCANと創経営課が連携し、5万円ずつ助成。12月12日に同市同研究発表会の研究成果報告会で披露する。

函館から北海道に入り新

反対のルートが人気のゴールデンルートになる

「開業で地域の価値が高まるが、さらに幅広い産業や教育機関の誘致に力を入れる必要がある。1次・2

「開業で地域の価値が高まるが、さらに幅広い産業や教育機関の誘致に力を入れる必要がある。1次・2

「開業で地域の価値が高まるが、さらに幅広い産業や教育機関の誘致に力を入れる必要がある。1次・2

海外研修の希望、道文化財団、工

大花(函館市)は、函館市に3年副幹線推進の函館市

「開業で地域の価値が高まるが、さらに幅広い産業や教育機関の誘致に力を入れる必要がある。1次・2

「開業で地域の価値が高まるが、さらに幅広い産業や教育機関の誘致に力を入れる必要がある。1次・2

「開業で地域の価値が高まるが、さらに幅広い産業や教育機関の誘致に力を入れる必要がある。1次・2

「開業で地域の価値が高まるが、さらに幅広い産業や教育機関の誘致に力を入れる必要がある。1次・2

北海道文化財団、理事長は工